

八戸

八戸学院大学女子バスケットボール部が2日に開幕する第75回全日本大学選手権（インカレ）に出場する。同部関係者らが11月29日、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に大会での健闘を誓った。

同部は9～10月に行われた第24回東北大学リーグで準優勝し、全日本大学選手権の出場権を獲得。2年連続2回目の出場となる。

橘勇佑監督兼ヘッドコーチや小田桐蒼アシスタントコーチと市庁を訪れた吉田華主将（青森市出身）は「東北リーグで優勝を果たせなかった悔しさをぶつける。レベルの高い戦いになるので、自分たちの持ち味を存分に発揮してチ

「全員バスケット」で健闘誓う

八学大女子、あすから全国大会



熊谷市長^左に全日本大学選手権への意気込みを語った八学大女子バスケットボール部の関係者ら

ーム全員で勝ちにいきいたい」ときっぱり。齋藤梨萌副主将（秋田県出身）も「東北や青森県の代表であることをしっかりと胸に刻んで、恥のないプレーをしてくる」と続いた。

全日本大学選手権では、愛知大学、新潟医療福祉大学と3チームで争う予選リーグを首位で勝ち抜ければ、決勝トーナメントに進出できる。橘監督によると、両大ともプレーの技術が高いといい、八学大としては全員が攻守でハードワークを貫くことが勝利への道となる。

熊谷市長は「予選リーグを突破できるように祈って応援します。頑張ってください」とエールを送った。（白鳥遼）